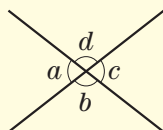


4章 学習のまとめ

対頂角の性質

▶ p.110

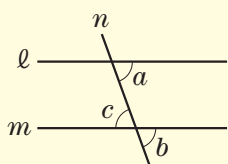


$$\angle a = \angle c$$

$$\angle b = \angle d$$

平行線の性質

▶ p.112



$l \parallel m$ ならば

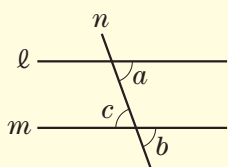
$$\angle a = \angle c$$

$l \parallel m$ ならば

$$\angle a = \angle d$$

平行線になるための条件

▶ p.113



$\angle a = \angle b$ ならば

$$l \parallel m$$

$\angle a = \angle c$ ならば

$$l \parallel m$$

三角形の内角と外角

▶ p.116

- ① 三角形の内角の和は 180° である。
- ② 三角形の外角は、それと隣り合わない2つの内角の **和** に等しい。

この章で学習した内容をふり返ってみましょう。

多角形の内角と外角

▶ p.119

- ① n 角形の内角の和は $180^\circ \times (n - 2)$ である。
- ② 多角形の外角の和は 360° である。

三角形の合同条件

▶ p.129

2つの三角形は、次のどれかが成り立つとき、合同である。

- ① **3** 組の辺がそれぞれ等しい。
- ② **2** 組の辺と **その間** の角がそれぞれ等しい。
- ③ **1** 組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい。

仮定と結論

▶ p.132

「**□** ならば **○**」の形に書かれたことがらで、**□** の部分を **仮定**，**○** の部分を **結論** という。

「 $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ ならば $AB = DE$ 」

⇒ 仮定 **$\triangle ABC \equiv \triangle DEF$**

結論 **$AB = DE$**

4章で見つけた **!** をふり返って、学習感想をまとめてみましょう。

- わかったことやよかったこと
- 大切だと感じたことや気づいたこと
- さらに学習してみたいこと など



小学校で学習した性質がいつでも成り立つことを説明できてよかった。

三角形や多角形の角の性質がわかってよかった。

2つの三角形が合同かどうかを調べるときに、すべての辺や角を調べなくてもよいということがわかった。

角の大きさを求めるときに、補助線のひき方を考えるのがおもしろかった。

いろいろな図形の性質を証明してみたい。

